

福井県衛生環境研究センター研究員活動報告 概要

発表演題名	P C B分析法を利用した牛乳中残留農薬の分析について
発表学会名	第 4 1 回北陸信越薬剤師学術大会
発表者名	小西 伊久江（保健衛生部）
開催場所	金沢都ホテル
発表日時	平成 2 0 年 1 1 月 3 日
発表内容	当センターでは行政検査の一環として、県内で製造または販売される牛乳について、成分規格検査とともに特殊検査である PCB 検査と残留農薬(β-BHC、DDT、ディルドリン)検査を実施している。平成 18 年 5 月 29 日から新たに導入された農薬等のポジティブリスト制により、牛乳中の有機塩素系農薬の暫定許容基準が廃止され、多数の農薬等を検査対象とすることになった。有機塩素系農薬については PCB と共通した構造や性質を持っていることから、PCB 分析と同じ方法で牛乳の脂肪抽出を行った後、一連の操作により定性定量している。 今回、有機塩素系農薬に準じた方法で分析されているピレスロイド系農薬についても、PCB 分析法を用いることを検討し、牛乳中の残留農薬の分析項目を増やせることが分かったので報告する。 添加回収の結果、対象農薬である有機塩素系農薬とピレスロイド系農薬の 25 種 44 項目の回収率は、70%以下のものは 10 項目、70%から 120%のものは 31 項目、120%以上のものは 3 項目であった。